

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 備前市	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒705-8602 備前市東片上126番地
----	--------------------	----	---

本票作成	部署名：市民生活部 環境課 保全係
------	-------------------

主たる業種	分類コード	98	業種名：地方公務
-------	-------	----	----------

事業の概要	地方自治 職員数678人
-------	--------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	備前浄化センター	備前市久々井717-5
	②	備前市立吉永病院	備前市吉永町吉永中563-4
	③	備前市立備前病院	備前市伊部2245
	④	備前市立日生病院	備前市日生町寒河2570-41
	⑤	クリーンセンター備前	備前市八木山859-4
	⑥	吉永浄化センター	備前市吉永町吉永中388-1

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 117 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 25 )年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	9,570 t CO <sub>2</sub>	10,376 t CO <sub>2</sub>	8,613 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 25 )年度排出量
	①	備前浄化センター	1,657 t CO <sub>2</sub>
	②	備前市立吉永病院	1,153 t CO <sub>2</sub>
	③	備前市立備前病院	1,554 t CO <sub>2</sub>
	④	備前市立日生病院	887 t CO <sub>2</sub>
	⑤	クリーンセンター備前	803 t CO <sub>2</sub>
	⑥	吉永浄化センター	639 t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 22 年度	～	平成 26 年度	( 5 箇年度)
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	( 25 ) 年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	△ 8.4 %	10.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達	

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 25 ) 年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 25 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

エネルギーの使用量は対前年度比97%であったが、電気の換算係数が上がったことから温室効果ガスの排出量は増えてしまった。

**【推進体制】**

省エネ法に基づき、エネルギー統括管理者及びエネルギー管理企画者を定めており、各施設管理者へ22年度作成した管理標準に沿って、全庁を挙げて省エネに努める。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
	<p>(25年度実施分)</p> <p>平成25年度は消費量が多い削減目標が達成されていない施設を訪問し、エネルギーを消費する設備の維持、使用方法を改善するよう省エネ指導を行った。</p> <p>備前病院は24年1月から新病院で診察を開始し、延べ床面積が1.4倍に増加したことから一昨年は温室効果ガス排出量がかなり増加したが、昨年は削減傾向にある。</p> <p>(今後実施予定分)</p> <p>さつき苑では空調設備を省エネタイプに更新したので来年度報告分から寄与すると思われる。</p> <p>市役所は電気自動車・ハイブリッド車の導入を推進し、クリーンセンターではBDF車を使用している。</p>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	有	2008年度に策定された備前市森林整備計画に沿って通年において備前市内の森林保全を行う。
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

使用電力低減のためクールビズ、ウォームビズ運動に取り組んでいる。

庁内メールで公共交通機関の利用やノーマイカーデーの取り組みを促した。

環境に配慮した自動車運転促進のため、エコドライブセミナーを開催した。

備前市は平成17年度に環境省の「環境と経済の好循環まちモデル事業」に採択されて以降、環境政策に関しては全国で最も先進的な取り組みを行っている。

ソフト事業としては市民の協力のもと「備前みどりのまほろば協議会を立ち上げ」、環境に関する普及啓発活動を行っている。

ハード事業としては全国でも殆ど行われていない中小規模業務施設におけるESCO事業(5か所)の実施や市民出資を活用した市民共同太陽光発電所(123kw)の設置を行った。2009年度には全国で20箇所環境共生型住宅事業の一つに採択され西鶴山小学校の近くに環境共生型住宅を建設し地域の環境教育及び普及啓発を行い地球温暖化に努めている。